

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 107号

2014/08/25 発行

株式会社 立花商店

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを先週の出来事の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しく願いいたします。

1、市況の動き：一時3年超ぶり高値をつけるも、その後は動き鈍い

① 最高：12月 LDN 市場 £ 2,044 / 12月 NY 市場 \$ 3,260 (8/18) 先週比 LDN +£ 4 / NY + \$ 17
② 最低：12月 LDN 市場 £ 2,018 / 12月 NY 市場 \$ 3,194 (8/21) 先週比 LDN +£ 11 / NY -27
週内価格差額 (①-②)：LDN 市場 £ 26 (傾向↑) / NY 市場 \$ 66 (傾向↑)
週内建玉推移：LDN 市場 283,020 枚 (8/15 終了時) ⇒ 287,333 枚 (8/21 終了時) +4313 枚
NY 市場 213,807 枚 (8/15 終了時) ⇒ 209,602 枚 (8/21 終了時) -4205 枚

2、ナイジェリア：南西部Ekiti州のカカオ豆 価格が上昇(8/21)

ナイジェリアのカカオ協会当局やトレーダーによると、ナイジェリア南西部の Ekiti 州で収穫されたカカオ豆の価格が上昇した。Ekiti 州の州都である Ado 地区のトレーダーによると、品質の分類がきちんとされているカカオ豆については、トン当たり 480,000 ナイラ (約 2,909 ドル) で取引がされており、昨年の 470,000 ナイラから値上がりしている。

彼は「Ekiti 州のカカオ豆価格は通常、国際市場での取引価格と乖離していない。なぜなら地元の輸出業者は国際市場価格より高値では販売しようとしなから。」と述べた。

ナイジェリアのカカオ協会の長官である Alagbada 氏によって品質管理がされているカカオ豆の価格が 480,000 ナイラと定められ、農家への最低保証価格は 470,000 ナイラとされた。

Alagbada 氏は「十分な日差しが得られた後に雨が降った。これによりミッドクロップの収穫が促進される」と述べた。彼はまた「Ado 地区をはじめとする Ekiti 州の一部の地区で 2014/15 期のメインクロップの収穫が少しずつ始まった。他の地域でも来月にはメインクロップの収穫が始まるだろう。」と述べた。

ナイジェリアでは主に南西部でカカオ豆が生産されているが、Ekiti 州は南西部の 5 大主要生産地の一つである。ナイジェリアは 2013/14 期で 33 万トンのカカオ豆が収穫されたが、南西部だけで全体の 70%の収穫量を誇る。また Ekiti 州はナイジェリア国内で最大の産地である Ondo 州に隣接している。

Ekiti 州は現在、5月から始まる雨季の最中にあるが、8月に2~3週間訪れる「August Break」という一時的な乾期の影響で雨の勢いが弱まっている。

ナイジェリアのカカオ豆は政府によって輸出適合品として認証を受けている分類済みのカカオ豆が出荷されている。

3、ニカラグア：カカオ豆に関する様々なプロジェクトが進行中(8/20)

2020年までにカカオ豆が世界的に約100万トン不足するという懸念を考慮すると、今後、ニカラグアは、より多くのカカオ豆を輸出するという大きなチャンスを秘めている。

現在ニカラグアでは、約10,000件のカカオ農家が存在している。しかしそのうちの98%が小規模農家である。ドイツのチョコレートメーカーであるリッタースポーツはニカラグアに2,500ヘクタールの農地を所有し、そのうち1,500ヘクタールはカカオ豆の栽培に充てられている。

<リッタースポーツのチョコレート>



また、民主的な開発を進行させる機関 IPADE は過去10年間、地元の農家と協同して活動を行っている。

この IPADE は Triangulo Minero で100件ものプロジェクトを推進しており、El Rama 地区では220件の農家と、Rio San Juan 地区では500件の農家と協同している。

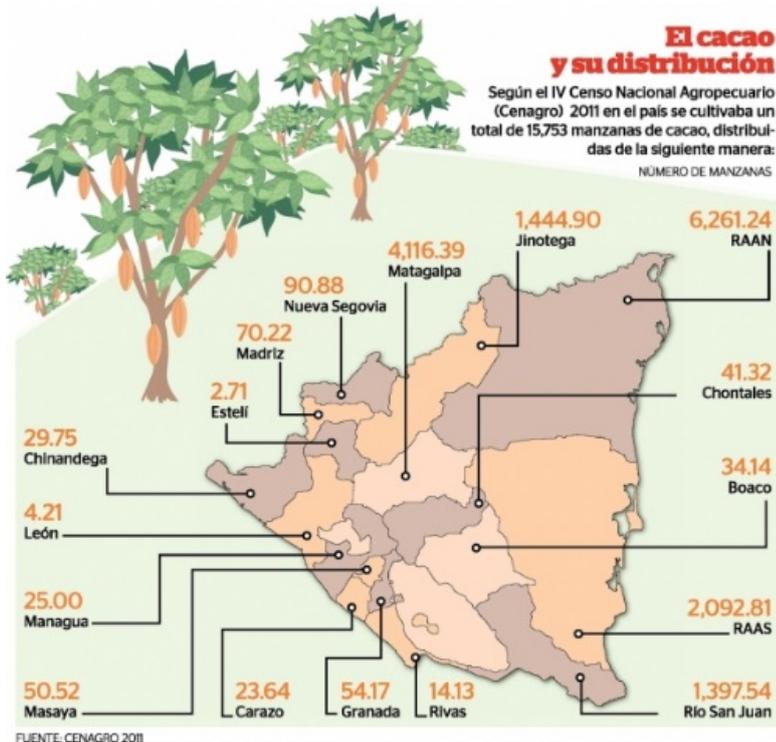
ニカラグアは2013期にはカカオ豆輸出により542万ドルの利益を得ている。昨年の393万ドルから約40%の上昇となった。このようにニカラグアではカカオ産業の将来は明るいですが、一方で気候変動の影響で農業が脅威にさらされており、農家がこれを懸念している。

特に Autonomia del Atlantico Norte 地区では過剰な降雨のせいで、農家が農作物への影響について心配している。

ニカラグアではカカオ豆の生産量について「1マンサナ（カカオ樹木1本）あたり〇〇キントルのカカオ豆が収穫できる」という表現の仕方をするが、今年度のカカオ豆の収穫量は2013期の23キントルから10キントル減少している。しかし2014/15期には合計16,013本のカカオ樹木が栽培されるだろう。

ちなみに下記が2011年におけるニカラグアのカカオの栽培状況である。

（数字はカカオ樹木の栽培本数である。）



Autonome del Atlantico 地区の El Rama では、農家たちはカカオ豆を貯蔵するための施設を建設することを検討している。彼らは自ら栽培したカカオ豆を出荷まで自分たちで見守りたいと考えている。また、同地区の北部では Casacajar と呼ばれるカカオマスの生産を始め、毎月 600 本もの製品を製造し地元のスーパーマーケットで販売している。

地元の生協の La Campesina は Mussi ブランドをつくりチョコレートを製造、販売している。また地元企業の Choco Trim もチョコレートバーを販売しており、今後独自のブランドを構築しようとしている。スイスはこうした地元の企業を支援している国の一つである。

スイスは 2014 年～2018 年までにこうしたセクターに対して 2400 万ドルの投資をする見込みである。

4、ガーナ：カカオ農家が 97 万 9008 セディのプレミアムを受け取る(8/21)

ガーナで持続可能な農業経営を支援するプロジェクト＝The ECOM and Akuafu Adamfo は、トレーサビリティ認証のとれたカカオ豆に対するプレミアムとして、中部やアシャンティ州の農家に 97 万 9008 セディ（約 30 万ドル）の金を支払った。

このプロジェクトは Asante Bekwai, Nsokote, Obuasi, New Edubeasi, Assin Breku, Assin Fosu, Breman Asikuma, Twifo Praso, Atieku の地区に 8335 件もの認証を受けたカカオ農家をメンバーとして抱えている。

こうしたメンバーは Akuafu Adamfo マーケティング社を通して、輸出基準を満たした認証済みのカカオ豆を 7,650 トンほど ECOM に販売している。

大よそ 57,142 エーカーの土地でカカオ栽培を行い、約 1 万 4000 トンの認証カカオ豆を収穫している。農家たちは地域ごとに UTZ の研修を受けており、トレーサビリティに対する理解や UTZ 認証を受ける

ことについての理解を深めることが求められている。プロジェクトでは農家たちに、教本や健康や安全に関するトレーニングや、ケガなどをした際に使用する応急処置キットなども必要に応じて与えられる。

ここ数年間で、農家はカカオ樹木と共に植える日よけの木を 15,000 受け取り、各地区に 1,500 本ずつ分け与えられた。また合計 4,500 ものカカオポッドが配布され、カカオ豆を取り出して、種として使えるように支援された。

Adamfo マーケティング社の代表は「我々は持続可能なカカオ豆の農業経営や認証カカオ豆に対する正当な報酬に強く関与している。そのため農家にとって必要なものを与え、支援し続ける。」と述べた。

世界中で持続可能なカカオ豆の供給がかなり求められている。主要なチョコレートメーカーや商社や圧砕業者は、2020 年までに 100%トレーサビリティの認証がとれる仕入先を探し求める動きがある。

この観点からすると、こうした企業のほとんどは、現地で農家が認証付きカカオ豆を生産するのを支援するような国の開発庁やNGOなどと戦略的に協同していくしかなくなるだろう。実際に多くの企業ではすでに、認証カカオ豆の栽培に関してのみならず、経済的、社会的に現地に貢献し、また環境に配慮した取り組みを始めている。

農家が認証付きのカカオ豆を短期的、中期的に生産することを承諾する動機として、カカオトレーダーは認証付きカカオ豆に対してプレミアムを支払う。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL 03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp